

SCにおける今夏の節電実態アンケート調査 結果報告

原発事故の影響により、今夏は電気事業法27条に基づいて東北電力及び東京電力管内の大口電力需要家に向けて、昨夏のピーク電力に対して15%削減という使用制限が敷かれ、その他の地域においても節電が求められた。

節電期間終了を受けて、調査研究委員会(委員長:天王寺SC開発(株) 代表取締役社長 山田 宗司氏)では10月から11月にかけて、『SCにおける今夏の節電実態アンケート調査』を全国の会員ディベロッパー各社に向けて実施した。

1. 東北電力及び東京電力管内における、今夏の節電実態アンケート調査結果

節電の目標については【表1】、政府が要請した「15%削減」を目標として掲げたSCが最も多かった。

節電対策を実施した結果、どのくらい使用電力を削減することができたか、節電の実績について聞くと【表2】、「20～24%」が最も多かった。次いで、「25～29%」となっており、結果として、節電評価と併せて見ると【表3】、目標値以上に節電したという努力の実態が浮かび上がってくる。

具体的な節電対策の実施項目については、【表6】から【表9】にまとめ、照明、空調などカテゴリー別に表を分けて作成した。照明部分では、館内共用通路やバックヤードの照明を間引き対応したSCが最も多かった。

空調部分では、昨年より温度設定を高めにし、28度に設定したSCが最も多かった。ちなみに、28度設定は共用部では8割近くあり、テナント店内でも7割近くあったことがわかった。

電力削減のために今回新たに投資をしたか伺ったところ【表10】、投資をしたところが8割を超え、その半数以上が「照明をLEDにした」と回答した。

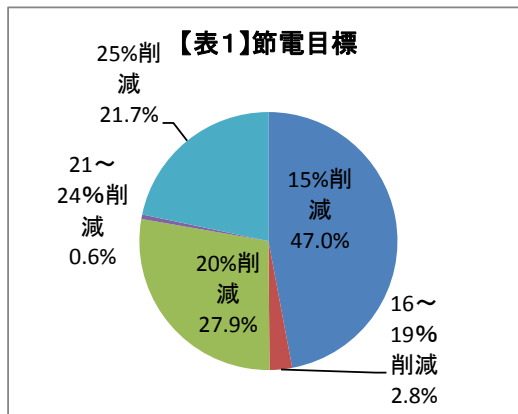
また、今冬の節電に係る方針については、多くのSCが「今夏と同様に節電に配慮する」、あるいは「安全性を確保したうえで、照明は引き続き節電を行っていく」と回答し、来夏の節電については、「方針は未定」としたところが多かった一方で、「今夏同様の節電を行う」との回答も多かった。

■調査の概要

- *実施時期 平成23年10月～11月
- *対象 東京電力及び東北電力管内の723SC
- *方法 FAX、電子メール等
- *回答企業数・SC数 ディベロッパー95社・355SC(うち共同計画申請は46社・306SC)
- *回答率 49.1%

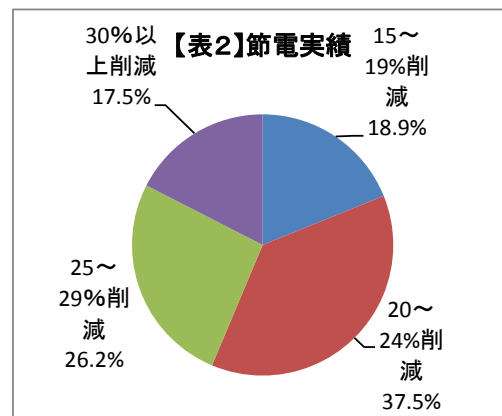
【表1】節電目標

目標値(削減率)	SC数	割合
15%	167	47.0%
16～19%	10	2.8%
20%	99	27.9%
21～24%	2	0.6%
25%	77	21.7%
合計	355	100.0%



【表2】節電実績

実績値(削減率)	SC数	割合
15～19%	67	18.9%
20～24%	133	37.5%
25～29%	93	26.2%
30%以上	62	17.5%
合計	355	100.0%



【表3】節電実績への評価

評価	SC数	割合
① 目標を大きく上回った(目標値より5ポイント以上プラス)	197	55.5%
② 目標を若干上回った(目標値より3~4ポイントプラス)	46	13.0%
③ ほぼ目標どおりであった(目標値より±2ポイント)	105	29.6%
④ 目標にやや届かなかった(目標値より3~4ポイントマイナス)	1	0.3%
⑤ 目標よりかなり下回った(目標値より5ポイント以上マイナス)	6	1.7%
合計	355	100.0%

【表4】カテゴリー別に削減した電力の割合

カテゴリー	削減率
①照明	46.5%
②空調	37.2%
③エレベータ等動力	7.5%
④その他	8.9%

(有効回答数 169SC)

【表5】電力削減のために契約電力を減らしたか

	企業数
減らした	31
減らさない	62

(有効回答数 93社)

【表6】節電実施項目(照明)

(項目別に多い順)

照明における節電実施項目	SC数
① 館内共用通路の基本照明、スポット照明を間引きした。(最低限の安全性を確保した上で)	354
① バックヤード(従業員通路、倉庫、搬出入場所、従業員休憩室など)の照明を間引きした。	354
③ ディスプレイ、外壁照明、屋上看板、サイン看板、ショーウィンドウ、コルトン等営業に直接影響しない照明は原則消灯	353
④ テナント店内の照明照度を間引きなどによって削減するよう要請した。(営業に差し支えない範囲で)	347
⑤ 屋内駐車場の照明、屋外駐車場の外灯は、安全性確保に必要な最低限の照度にした。	280
⑥ エレベータ、エスカレータの天井や下部照明を間引きした(最低限の安全性を確保した上で)	273
⑦ テナント店内のスポット照明をLED等の高効率器機に取り換えるよう要請した。	212
⑧ スポット照明をLEDに取り換えた。	182
⑨ 飲食テナントにアイドルタイム時の店内照明を消灯するよう要請した。	173
⑩ バックヤード(従業員通路、倉庫、搬出入場所、従業員休憩室など)に人感センサーを導入した。	32

【表7-1】節電実施項目(空調)

(項目別に多い順)

空調における節電実施項目	SC数
① 館内共用部の空調温度設定を昨年より高めに変更した。	291
② テナントに空調温度設定を昨年より高めに変更することを要請した。	289
③ 空調機内エアフィルター清掃を徹底させた。	243
④ 外気取入れ量を高効率制御した。	180
⑤ 給排気ファンを高効率制御した。	176
⑥ 風除室の空調を停止する、また、風除室ドアを常時開から常時閉にした。	119
⑥ 空調効率を妨げる荷物などを移動した。	119
⑧ 冷却水の温度上昇を抑制した。	114
⑨ 飲食テナントにアイドルタイム時の空調停止を要請した。	101
⑩ 熱源設備運転を電気からガス中心に変更した。	82
⑪ エアーカーテンの運転を中止した。	38

【表7-2】空調設定温度(館内共用部)

設定温度(°C)	SC数	割合
25	1	0.4%
26	16	6.3%
27	10	4.0%
28	195	77.1%
29	5	2.0%
26-27	14	5.5%
27-28	2	0.8%
26-28	10	4.0%
合計	253	100.0%

(有効回答数 253SC)

【表7-3】空調設定温度(テナントに要請)

設定温度(°C)	SC数	割合
25	1	0.4%
26	12	4.9%
27	10	4.1%
28	163	67.1%
26-27	16	6.6%
27-28	19	7.8%
26-28	22	9.1%
合計	243	100.0%

(有効回答数 243SC)

【表8】節電実施項目(エレベータ等動力)

(項目別に多い順)

エレベータ等動力における節電実施項目	SC数
① エレベータ、エスカレータの運転台数を削減した。	299
② 社員・従業員の階段利用を促進した。	168
③ キーテナント内のエレベータ、エスカレータの運転台数の削減を要請した。	68

【表9】節電実施項目(その他)

(項目別に多い順)

その他の節電実施項目	SC数
① 自動販売機のディスプレイ照明の消灯や冷却・保温機能を停止した。	331
② デマンド監視装置によるピーク電力の管理をおこなった。	324
③ 暖房便座、温水洗浄便座の運転を停止した。	259
④ 管理事務所のOA機器を未使用時には電源を切った。	251
⑤ トイレエアータオルの運転を停止した。	240
⑥ テナントにOA機器を未使用時には電源を切るよう要請した。	157
⑦ テナントに冷気吹き出し口周辺の整理整頓を要請した。	138
⑧ ディベロッパ管理部門の残業を抑制した。	125
⑨ 食品テナントの業務用冷蔵庫、ショーケースなどの一部間引きを要請した。	120
⑩ ガラス面にカーテンを設置し熱負荷を低減した。	112
⑪ テナントに残業の抑制や閉店後の速やかな退出を要請した。	103
⑫ 飲食テナントの業務用冷蔵庫の温度を高め設定するよう要請した。	99
⑬ 滝や池などの環境アイテムの稼働を中止した。	92
⑭ 自家発電装置の導入や再稼働を実施した。	65
⑮ 従業員食堂の業務用冷蔵庫の温度管理を徹底した。	7

【表10-1】電力削減のために、今回新たに投資をしたか

	SC数	割合
投資をした	293	82.5%
投資をしなかった	62	17.5%
合計	355	100.0%

【表10-2】新たに投資の内容について

(項目別に多い順)

	SC数	割合
①照明をLEDにした。	191	56.0%
②デマンドコントロールのシステムを導入した。	145	42.5%
③自家発電を導入した。	5	1.5%
合計	341	100.0%

(有効回答数 341SC)

【表11】電力削減によるイベントへの影響

(項目別に多い順)

	SC数	割合
①予定通りのイベントを開催した。	133	44.8%
②予定通りイベントは開催したが、規模あるいは内容を縮小した。	84	28.3%
③中止したイベントもある。	80	26.9%
合計	297	100.0%

(有効回答数 297SC)

※注意:【表4】、【表5】、【表7-2】、【表7-3】、【表10-2】、【表11】については、全体の回答数に至らないため、参考値としてご覧ください。

2. その他の電力会社管内における、今夏の節電実態アンケート調査結果

節電の目標については【表1】、「15%削減」を目標として掲げたSCが最も多かったが、電力の使用制限がかかったエリアではなかったため、東北電力・東京電力管内と比べると、全体的に削減目標は低めであった。

節電対策を実施した結果、どのくらい使用電力を削減することができたか、節電の実績について聞くと【表2】、「10～14%」が最も多く、次いで「5～9%」となった。節電評価では【表3】、「ほぼ目標どおり節電を達成した」というSCが最も多かった。

具体的な節電対策の実施項目については、【表5】から【表8】にまとめ、照明、空調などカテゴリー別に表を分けて作成した。回答の内容をみると、東北電力・東京電力管内とほぼ同様の傾向が見られ、照明部分ではバックヤードや館内共用通路の照明を間引き対応したSCが多かった。また、空調部分では、温度設定を28度にしたSCが最も多かった。

電力削減のために今回新たに投資をしたか伺ったところ【表9】、使用制限が敷かれていなかったせい、「投資をしなかった」と回答したところが半数を超えた。

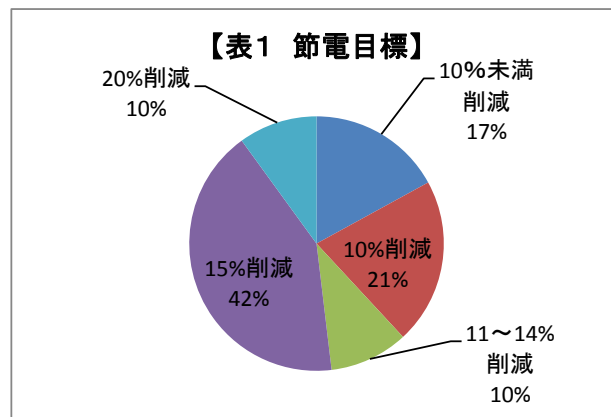
今冬の節電に係る方針については、関西電力や九州電力で節電要請が出る前の時期ではあったが、多くのSCが「今夏と同様に節電に配慮する」と回答した。また、来夏の節電については、「今夏同様の措置を取る」という回答が最も多かった。

■調査の概要

*実施時期	平成23年10月～11月
*対象	東京電力及び東北電力管内以外の564SC
*方法	FAX、電子メール等
*回答企業数・SC数	ダイベロッパ―69社・370SC
*回答率	65.6%

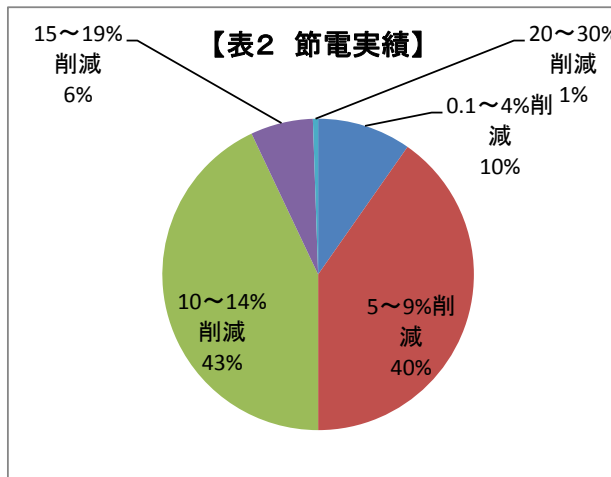
【表1】節電目標

目標値(削減率)	SC数	割合
10%未満	63	17.0%
10%	78	21.1%
11～14%	37	10.0%
15%	155	41.9%
20%	37	10.0%
合計	370	100.0%



【表2】節電実績

実績値(削減率)	SC数	割合
0.1～4%	36	9.7%
5～9%	149	40.3%
10～14%	159	43.0%
15～19%	24	6.5%
20～30%	2	0.5%
合計	370	100.0%



【表3】節電実績への評価

評価	SC数	割合
① 目標を大きく上回った(目標値より5ポイント以上プラス)	8	2.2%
② 目標を若干上回った(目標値より3～4ポイントプラス)	18	4.9%
③ ほぼ目標どおりであった(目標値より±2ポイント)	163	44.1%
④ 目標にやや届かなかった(目標値より3～4ポイントマイナス)	51	13.8%
⑤ 目標よりかなり下回った(目標値より5ポイント以上マイナス)	130	35.1%
合計	370	100.0%

【表4】カテゴリー別に削減した電力の割合

カテゴリー	削減率
(1)照明	47.3%
(2)空調	36.8%
(3)エレベータ等動力	7.6%
(4)その他	8.3%

(有効回答数 151SC)

【表5】節電実施項目(照明)

(項目別に多い順)

照明における節電実施項目	SC数
① バックヤード(従業員通路、倉庫、搬出入場所、従業員休憩室など)の照明を間引きした。	344
② 館内共用通路の基本照明、スポット照明を間引きした。(最低限の安全性を確保した上で)	336
③ ディスプレイ、外壁照明、屋上看板、サイン看板、ショーウィンドウ、コルトン等営業に直接影響しない照明は原則消灯した。	334
④ 屋内駐車場の照明、屋外駐車場の外灯は、安全性確保に必要な最低限の照度にした。	281
⑤ エレベータ、エスカレータの天井や下部照明を間引きした(最低限の安全性を確保した上で)	280
⑥ テナント店内の照明照度を間引きなどによって削減するよう要請した。(営業に差し支えない範囲で)	211
⑦ スポット照明をLEDに取り換えた。	138
⑧ 飲食テナントにアイドルタイム時の店内照明を消灯するよう要請した。	73
⑨ テナント店内のスポット照明をLED等の高効率器機に取り換えるよう要請した。	60
⑩ バックヤード(従業員通路、倉庫、搬出入場所、従業員休憩室など)に人感センサーを導入した。	9

【表6-1】節電実施項目(空調)

(項目別に多い順)

空調における節電実施項目	SC数
① 館内共用部の空調温度設定を昨年より高めに変更した。	33
② テナントに空調温度設定を昨年より高めに変更することを要請した。	24
③ 空調機内エアークリアフィルターの清掃を徹底させた。	23
④ 外気取入れ量を高効率制御した。	13
⑤ 給排気ファンを高効率制御した。	11
⑥ 風除室の空調を停止する、また、風除室ドアを常時開から常時閉にした。	6
⑦ 空調効率を妨げる荷物などを移動した。	5
⑧ 冷却水の温度上昇を抑制した。	5
⑨ 熱源設備運転を電気からガス中心に変更した。	5
⑩ エアーカーテンの運転を中止した。	2
⑪ 飲食店厨房給気ファンの停止を要請した。	2
⑫ 飲食店にアイドルタイム時の空調停止を要請した。	2

【表6-2】空調設定温度(館内共用部)

設定温度(°C)	SC数	割合
25	1	0.4%
26	14	5.1%
27	21	7.7%
28	225	82.4%
27-28	12	4.4%
合計	273	100.0%

(有効回答数 273SC)

【表6-3】空調設定温度(テナントに要請)

設定温度(°C)	SC数	割合
24	2	0.8%
25	1	0.4%
26	3	1.2%
27	12	5.0%
28	211	87.6%
27-28	12	5.0%
合計	241	100.0%

(有効回答数 241SC)

【表7】節電実施項目(エレベータ等動力)

(項目別に多い順)

エレベータ等動力における節電実施項目	SC数
① エレベータ、エスカレータの運転台数を削減した。	18
② 社員・従業員の階段利用を促進した。	17
③ キーテナント内のエレベータ、エスカレータの運転台数の削減を要請した。	0

【表8】節電実施項目(その他)

(項目別に多い順)

その他の節電実施項目	SC数
① デマンド監視装置によるピーク電力の管理をおこなった。	23
② 管理事務所のOA機器を未使用時には電源を切った。	21
③ 自動販売機のディスプレイ照明の消灯や冷却・保温機能を停止した。	19
④ 暖房便座、温水洗浄便座の運転を停止した。	15
⑤ テナントにOA機器を未使用時には電源を切るよう要請した。	10
⑥ テナントに残業の抑制や閉店後の速やかな退出を要請した。	10
⑦ トイレエアータオルの運転を停止した。	8
⑦ デイベロッパー管理部門の残業を抑制した。	8
⑨ 従業員食堂の業務用冷蔵庫の温度管理を徹底した。	3
⑨ 滝や池などの環境アイテムの稼働を中止した。	3
⑨ ガラス面にカーテンを設置し熱負荷を低減した。	3
⑨ テナントに 冷気吹き出し口周辺の整理整頓を要請した。	3
⑬ 食品テナントの業務用冷蔵庫、ショーケースなどの一部間引きを要請した。	2
⑭ 飲食テナントの業務用冷蔵庫の温度を高め設定するよう要請した。	1
⑮ 自家発電装置の導入や再稼働を実施した。	0

【表9】電力削減のために、今回新たに投資をしたか

	SC数	割合
投資をした	19	42.2%
投資をしなかった	26	57.8%
合計	45	100.0%

(有効回答数 45SC)

【表9-2】新たに投資の内容について

(項目別に多い順)

	SC数	割合
①照明をLEDにした。	17	85.0%
②デマンドコントロールのシステムを導入した。	3	15.0%
③自家発電を導入した。	0	0.0%
合計	20	100.0%

(有効回答数 20SC)

【表10】電力削減によるイベントへの影響

(項目別に多い順)

	SC数	割合
①予定通りのイベントを開催した。	26	76.5%
②予定通りイベントは開催したが、規模あるいは内容を縮小した。	5	14.7%
③中止したイベントもある。	3	8.8%
合計	34	100.0%

(有効回答数 34SC)

※注意:【表4】、【表6-2】、【表6-3】、【表9】、【表9-2】、【表10】については、全体の回答数に至らないため、参考値としてご覧ください。

以上